

日本の未来 を宮古島で開催!



1 財政教育プログラムについて

財務部では、小中学校、高校に出向いて、難しそうに見える日本の財政に興味を持つきっかけとなるような出前授業、「財政教育プログラム」を実施しています。

「財政教育プログラム」には、次のような特徴があります。

① アクティブ・ラーニングの導入

日本の将来について考えることをテーマとしたグループワークを取り入れています。

子どもたちが意見を出し合いながら議論を行うことにより、主体的・対話的で深い学びを促します。



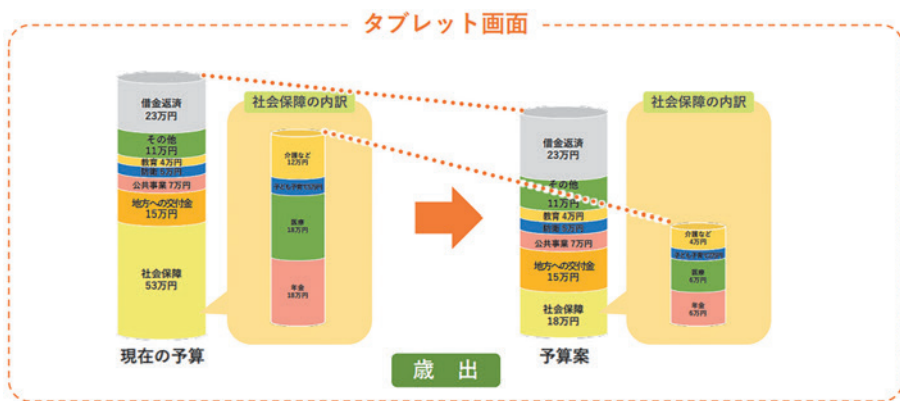
② 沖縄総合事務局財務部職員との交流

当日は、講師役に加え、当部の若手職員をグループワーク補助のアドバイザーとして派遣し、子どもたちの活発な議論の手助けを行います、交流を図ります。

③ タブレット端末等 ICT機器の活用

グループワークでは、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用します。

使用する予算編成シミュレーションツールは、各予算項目を増減させるとグラフが変化する仕組みで、視覚的に楽しみながら取り組むことができます。



授業で使用するタブレット画面の一例

④ 学校と沖縄総合事務局財務部との協働

授業の前から学校と当部が協働しながら、1つのプログラムを作り上げていきます。

⑤ プログラムの効果

日本の財政に興味を持つことができる。

社会問題を自分事として捉えることができるようになる。

受益と負担の両面性(トレードオフ)の理解を深め、多面的な見方が可能にする。

多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識できる。

財政の決め方

財政の中身は、国民の代表者である国会議員が国会で議論して決めています。



財政の決め方

子どもたちと考える 「財政教育プログラム」

2 出前授業 in 宮古島市立西城小学校、伊良部島小学校

次に、9月1日～9月2日に宮古島で実施した、西城小学校（9名）、伊良部島小学校（27名）の出前授業の様子についてご紹介します。

財務部職員による講義

授業の前半は、当部職員が「日本の未来について考える」と題し、身近な公共サービスや宮古島市にある公共施設の事例について紹介し、クイズも交えながら、これらを支えるための会費として税金や保険料が必要であることを説明しました。

また、今年度の国の歳出・歳入の内訳を具体的に説明し、予算の使われ方や集め方について身近な事例を示しながら説明しました。

日本の社会保障制度は、受益と負担の水準が釣りあっていない状態である事を説明し、よりよい未来の実現に向けて何が必要かを考えてもらいました。

グループワーク・発表

授業の後半は、子どもたちがグループに分かれ、予算編成シミュレーションを使用し「予算編成」に取り組みました。

どのような社会にしていきたいのかテーマを決め、歳出はどの分野を充実させるのか、歳入はどの税金を増減させるかなど、活発な意見が交わされました。

グループワークには、財務部職員がアドバイザーとして参加したほか、担当教諭も加わり、子どもたちからの質問に答え、議論が活発になるよう手助けを行いました。

グループごとの発表では、「お年寄りに優しい社会を目指す」、「教育が充実した社会にしたい」、「現役世代が豊かになる社会」等をテーマに、様々な意見が出ました。

最後に、財政の中身は「国民の代表者である国会議員が国会で議論して予算を決めている」事を説明し、財政出前授業を締めくくりました。



発表の様子（西城小学校）

グループワークの様子（西城小学校）

グループワークの様子（伊良部島小学校）

講義の様子（伊良部島小学校）

子どもたちからの声

こどもたちの感想

- 税金は必要ないと思ったけど、公共事業など役に立つ事に使われていることがわかった。
- 公共サービスについて理解できた、グループワークが楽しかった！
- 救急車が1回出動するのに、約4万円の費用がかかる事を聞いて驚いた。
- 社会保障費の割合が多いのは、少子高齢化の影響が大きいのことがわかった。
- 日本の借金の総額を知り、びっくりしました。

こどもたちの感想

当部では、教育機関と連携し、子どもたちが日本の財政に興味を持つきっかけとなる出前授業を実施しています。

出前授業については、左記のお問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

財務部 財務課（地域連携担当）
☎098-8666-0091